

令和7年度(2025年度)

進路だより

未来を切り拓く たくましく 心やさしい 子どもたちへ

札幌市立真栄中学校

第37号

令和7年(2025年)7月10日

☆北海道札幌真栄高等学校(清田区真栄236)☆

学級にパンフレットを配付しました。ポスターを掲示しました。

パンフレットにも記載されています「スクールガイダンス」(8月19日(火)開催)につきましては、進路だより第30号を再確認してください。

☆札幌静修高等学校(中央区南16西6)☆

全員に「募集要項」とパンフレットを配付します。

パンフレットに掲載されています「学校説明会」や、新校舎竣工時期等につきましては、第29号を御参照ください。

「募集要項」が全員分届く高校は稀です。同校の受験をお考えではない御家庭も、各校の「募集要項」に記載されることへの御理解を深めていただくことができる絶好の機会ですので、御一読をお願いいたします。

そして、日頃から、興味がある私立高校のWebサイトを閲覧していただきますよう、改めてお願いいたします。一部私立高校はすでに、現在の中学校3年生の入試に関する募集要項がアップロードされています。

★募集要項★

ということで、札幌静修高等学校の「募集要項」を使わせていただき、以下説明いたします。

・「募集要項」とは、受験に関することが詳細に記載されているものです。すべての私立高校で、10月頃までにはアップロードされると思われます。

●3頁を御参照ください。

・同校の1月受験は、1月23日(金)に実施される「推薦入試」または「単願入試」です。高校によって入試日は異なりますが、冬休み明けの1月に実施されます。合格したら必ず入学する、という意味表示をした受験です。2月初旬には入学手続も済ませる、ということになります。

・1月受験で、「推薦入試」を実施しない高校、「単願入試」ではなく「専願入試」という名称で実施する高校もあります。詳しくは「進路説明会資料」10~12頁を御参照ください。なお、札幌圏では北海高等学校のみ「単願入試」「専願入試」が実施されず、「推薦入試」のみを1月に実施します。推薦ではなく北海高等学校のみを受験=2月の一般入試を受験、となります。

・同校は、提出書類の他に面接試験のみで合否を判定する、と読みとれますが、同校は1月受験で合格した受験生に、2月の一般入試における筆記試験を受験することを義務づける、と記載されています。

私立高校の1月受験には、面接試験のみ、筆記試験のみ、面接試験+筆記試験、同校のように、面接試験のみ→2月に合否に関係のない筆記試験、という4パターンがあります。

・同校は「合格の可能性が高くなる目安」(進路だより第33号を御参照ください。)を募集要項に明記していないことがわかります。

明記されている私立高校も多いのですが、同校のような場合、これまでの

入試結果もふまえて、中学校側で助言をさせていただきます。

明日から期末懇談が始まりますが、第1希望としての1月受験、第2(3)希望としての2月受験に関わらず、その目安をもとに、10月にお渡しします通知表では、2年生の学年末評定から〇つアップさせることが目標です、という具体的な話題になることもあり得ます。

●4頁を御参照ください。

・同校の2月受験は、2月13日(金)に実施される「一般入試」で、5教科の筆記試験が課される、と理解できます。

同校のようにA日程校は2月13日(金)、B日程校は2月17日(火)に実施されます。札幌圏の私立高校の「一般入試」は、ほぼすべての高校で面接試験がなく、筆記試験のみです。筆記試験は5教科、または国数英の3教科で、一部の高校では、コースによって5教科と3教科で異なる、ということもあります。筆記試験の他に実技試験を課す学科が設置されている高校も一部あります。

・入学手続は3月23日(月)までに、と記載されています。第1希望の公立高校に御縁がなかった時に入学、ということになりますので、公立高校の合格発表(今年度は3月17日(火))後に、入学手続締切日が設定されている訳です。

・同校は、「一般入試」も目安が明記されていないことがわかります。

●5頁4項、8頁を御参照ください。

・国と北海道による修学支援につきましては、これまでリーフレットも配付しておりますので、御理解をいただいていると存じます。

8頁に記載されていますとおり、更に拡充され、いわゆる「高校授業料の無償化」が実現されるか否かは、今後の政策決定によります。

情報収集に努め、報道を注視したいと存じます。新たなことがわかりましたら進路だよりでお知らせしたいと存じますが、同校のような募集要項を作成する高校もあれば、このあたりが明確になってから募集要項を作成しようとしている高校があるかもしれません。

●6頁を御参照ください。

・多くの私立高校は特待生制度を設けています。このように〇ランク以上で△△を口額給付します、部活動での活躍が見込まれる生徒も同様に…、と明記される高校がほとんどです。

・公立高校とは異なり、私立高校ですので、高校の良い評判を広めてくれる可能性が高い生徒には…、という高校側の意思表示です。

・多くの私立高校で、同校のように、1月入試と2月入試で特待生制度に差を設けています。必ず入学する受験生か、入学する可能性がある受験生かの違いによるものと考えられます。

・特待生制度で、授業料の全額を…、授業料の半額を…、という記載がある私立高校が多いのですが、前述のとおり、受験生や御家庭にとってのこれらの特典が特典ではなくなる時代がくるかもしれません。

●9・10頁を御参照ください。

・Web出願手続の方法が記載されています。時期がきましたら、いつまでにWeb出願手続と受験料支払を済ませていただき、いつまでに印刷(御家庭にプリンタがなくても大丈夫です。コンビニエンスストアのマルチプリンタ(コピー機)での印刷もできます。なお、公立高校も同様です。)した願書を中学校へ提出してください、と進路だよりでお知らせいたします。

印刷した願書に、11月に中学校で撮影します写真を貼付して完成します。